

看護管理学演習

[演習] 1年 後期 選択 30時間 2単位

《担当者名》○福井純子 [sfukui@hoku-iryo-u.ac.jp]
平下智恵 (非)

【概要】

既習の知識を基に、看護管理者としての課題とその解決に向けて必要となる理論やその活用について学修する。その上で看護管理者としての課題を整理し、解決に向けた方策について探求する。

【学修目標】

1. 組織運営および地域連携における看護管理者が担う役割について理解し、自組織における看護管理上の課題と解決に向けた方策を検討できる。
2. 臨床現場における人材育成に活用できる理論や考え方を学び、自組織における実践への活用が検討できる。
3. 看護管理者としての自分自身を客観的に分析し、今後の看護管理の実践に向けて課題を探求できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	組織運営・変革と看護管理	「対話」を通じた組織運営・変革について理解し、看護管理者が担う役割について探究する。	宇田川元一 (特別講師) 福井
3) 4	看護師のキャリア支援における看護管理者の役割	キャリア支援に関する理論や現状を理解する。自組織における課題や取り組みを踏まえ、専門職としての看護職のキャリア支援について、看護管理者が果たす役割を探求する。	福井
5) 6	人材育成に活かすリフレクション	リフレクションの効果や方法について理解し、人材育成の場面での活用可能性について探求する。	平下 福井
7) 8	看護管理に活用するリーダーシップ論	リーダーシップ論について概観して理解する。その上で、自分自身のリーダーシップスタイルの確立や、リーダーを育成するにあたっての課題や方策について探求する。	福井
9) 10	看護管理に活かすポジティブマネジメント	看護管理に活かすポジティブマネジメントについて学び、自組織・部署の状況について考察し、今後の方策について探求する。	福井
11) 12	看護管理者に求められるコンピテンシーと看護管理者の能力開発	看護管理者としての自分自身を客観的に理解する。看護管理者に求められるコンピテンシーについて学び、自分自身の課題に引き寄せて看護管理者の能力開発について探求する。	福井
13) 14	臨床倫理と看護管理	臨床において、倫理的な看護実践がおこなえているか、倫理的感性を育成するために看護管理者としてどのようにしたらよいかについて、臨床倫理の基本と事例検討について学び、体験した上で検討する。更に自組織での活用可能性について探求する。(臨床倫理検討会参加)	福井
15	統合) 看護管理セミナーの企画・運営への応用	看護管理学に関する既習の知識を基に、現在の看護管理者の学習ニーズを導き出し、看護管理者を対象としたセミナーの企画・運営に携わる。運営に伴う他施設の看護管理者との調整・交流をはかる。セミナーでの学びの自組織における活用可能性について探求する。	福井

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

プレゼンテーション (30%)、ディスカッション (40%)、小レポート (30%) を通して総合的に評価する。

【教科書】

指定しない

【参考書】

ガイダンス時に提示

【備考】

- ・ゼミナール形式で、文献購読及びプレゼンテーションとディスカッションを中心に授業をすすめる。
- ・各授業終了後には、リアクションペーパーを活用して授業内容の理解と学びの整理をする。

【学修の準備】

プレゼンテーションは、参考書及びテーマに関連する研究論文を用いて理論の理解を深める。その上で、自組織の現状や看護管理者としての自分自身の課題と照らし合わせてディスカッションポイントを明示すること

【ディプロマ・ポリシー (学位授与方針) との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期 (修士) 課程のディプロマ・ポリシーに適合している。